

第3号様式

平成22年度 京都府立大学地域貢献型特別研究 (ACTR) 成果

分類 番号	A	取組 名称	地球環境問題の解決に向けた自然との共生の理論の構築と新たな社会制度の研究
研究代表者：		公共政策学部 (研究科)	教授：青山 公三
研究担当者： 京都府立大学 (小沢修司、築山 崇、田中和博、松原斎樹、奥谷三穂、佐野 亘、川勝健志 (敬称略))			
主な連携機関 (所在市町村、機関 (部署) 名) 京都大学, 総合地球環境学研究所, 京都府地球温暖化対策課			
【研究活動の要約】			
<ul style="list-style-type: none"> ● 平成21年度に引き続き、本研究の一環として、本学が京都大学、総合地球環境学研究所、京都府地球温暖化対策課の各機関と連携し、平成23年2月12日(土)、13日(日)に京都国際会館にて開催された「京都環境文化学術フォーラム」の企画・運営に協力した。 ● このフォーラム開催に向け、府立大独自に持続可能社会づくりに向けた「環境、経済、文化」の学術分野の融合による新たな理論や社会・経済制度等に関する研究を進めるため、平成22年10月に3つの連続セミナーを実施した。 ● また、自然との共生や地球温暖化に関わる経済・社会制度の国内外の事例研究として、ブータン王国の調査、米国東海岸の広域都市圏の調査などを行った。 ● さらに、京都らしい伝統的暮らし方を生かした温暖化対策を提案するための調査研究を行った 			
【研究活動の成果】			
<p>1. 「京都環境文化学術フォーラム」を開催 於: 国立京都国際会館 平成23年2月12日、13日 『グローバルコモンズを目指して』-自然と文化を大切にしたい幸福な社会-</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スペシャルセッション では、ゴヴィンダン・パライル氏(国連大学高等研究所所長)が「グローバルサスティナビリティに向けて」の基調講演を行い、続いて行われたセッションにおいて、松下和夫氏(京都大学)や窪田順平氏(総合地球環境学研究所)、佐野亘氏(京都府立大学)らによるディスカッションが行われた。 ● また翌の国際シンポジウムにおいては、ブータン王国からケサン・チョゼン・ワンチュク王女殿下をお招きし、「ブータン王国のGNH」の基調講演をお願いした。続いて行われたパネルディスカッションでは、王女殿下もご臨席の上、広井良典氏(千葉大学教授)、西水美恵子氏(元世界銀行副総裁)による議論が展開された。 <p>2. 持続的発展可能な地域環境政策について考える連続セミナー 於: 府立大学 平成22年10月4日、11日、19日 「環境・福祉・文化」の融合を目指して、「ブータン王国のGNHに学ぶ知恵」平山修一(GNH研究所所長)、「持続可能な福祉社会一定常型社会と環境・福祉」の統合」広井良典(千葉大学法経学部教授)、「OECD諸国の地域政策の潮流と『グリーン成長政策』」松本忠(OECD上席政策アナリスト)の連続セミナーを開催した。</p> <p>3. 自然との共生や地球温暖化に関わる事例研究としてブータン王国への調査、米国東海岸の調査等を行った</p> <p>4. 京都らしい伝統的暮らし方を生かした温暖化対策を提案するための調査研究を行った。</p>			
【研究成果の還元】			
<p>平成23年2月12日～13日に「京都環境文化学術フォーラム」を京都国際会館にて開催。スペシャルセッションには主に研究者を中心に約100名、国際シンポジウムは広く市民約1,000名の参加を得て実施された。また連続セミナーは府立大学で開催され、主に研究者、学生、院生など毎回約20名余が参加した。「京都環境文化学術フォーラム」の議論の内容はホームページなどで公開する予定。研究分担者が作成した各種レポートは、問い合わせに応じて公開する予定である。</p>			
【お問い合わせ先】		公共政策学部 教授 青山公三	
Tel: 075-703-5903		E-mail: k-aoyama@kpu.ac.jp	

